

第 5回 宮城舞台技術者協会会議(第 1回定例会) 議事録

日時	2020 年 7 月 8 日 19 時 00 分 ～ 21 時 00 分	場所	仙台市若林区文化センター セミナー室
議題	・JAPAN#31Projectについて報告 ・「劇場へ行こう！プロジェクト」について ・「スタッフラボ2020」について		

出席者	佐野和永(アーツ) 齊藤浩行、寶玉浩太郎(コントライブ) 濱田一郎(サウンドデザイン) 永瀬博和(サウンドプラス) 羽田貞浩、鎌田美咲(ステージワーカー) 田嶋克彦(T・J・M) 伊藤幸夫(東北共立) 菊地孝(NASS) 相沢俊一(バックステージ) 今野芳明(ファクトリー・K) 吉田興二(フォーボックス) 石井忍、小林道子(舞台監督工房) 斎藤豊寿、斎藤環江(ライティングケン) 明石学(atsound) 國分秀昭(HK customworks) 市川優子(GET TOUGH) 山品晃彦(THE MODERN WORLD) 志賀智子(志賀舞台照明) 中鉢典男(differ) 桜井淳悦(FACTOLIER) 長尾恵吉(フリーライン) 棟居尚(ムネスエ音響) 梅内久仁生(メイサウンド) 太田淳也 小宮芳紀 関紀子 高橋慶 高橋裕介 法人代表者、個人事業主、事務局 32名			
決定事項	■主催事業「劇場へ行こう！プロジェクト」と協力事業「スタッフ・ラボ」について ○協力事業「スタッフ・ラボ」は、8/10開催。主催事業「劇場へ行こう！プロジェクト」は、リハ8/24,本番8/26,27 ■次回の定例会開催について（詳細は、議事録3ページ目をご確認ください） ○8/5 夜？～ 場所未定 ~~→日立システムズホール 研修室2 14時～ 日中開催に変更になりました。~~			
会議内容	■新規会員の紹介 ○TJM田嶋克彦さん、NASS菊地孝さん、atsound明石学さん、FACTOLIER桜井淳悦さん、高橋慶さんが入会されました。 ■協会費納入のお願い ○7/3に口座を開設いたしました。 ○6/23に決まりました通り、会費の納入区分として、法人事業主、個人事業主の2つに分け、法人会員さんは、10,000円、個人会員さんは3,000円と決定致しました。8/31(月)までに、お振込いただきますようお願い致します。振り込み口座は、本日お配りしましたとおりになります。直接現金にてお支払いしたい方は、直接事務局までお願い致します。また、記載いたしました、お振込の希望の皆様にも、請求書、領収書の発行は可能でございます。その場合は、事務局までご連絡をお願い致します。 ■JAPAN#31Projectについて報告 ○ BESS株式会社 様、株式会社GOTTA 様、アールスリー株式会社 様、FREAKS！ 様、SOSS 様、オールステージカンパニー株式会社 様を発起人として、JAPAN#31Projectが開催されました。色彩心理的に「温かい」「豊潤」「穏やか」等のプラス面と「ストレス」「押さえられた感情」があるアンバー(舞台照明色#31)を使用し、暖かく穏やかな日常を取り戻してほしいという気持ちを込め、全国の賛同者で一斉ライトアップを行うイベントです。 ○経緯として、6/25に盛岡市のオールステージカンパニー株式会社の照井様より協会へご連絡をいただきました。7/6が第1回目の開催ということもありまして、協会として開催すべきかどうかを皆様にお伺いする前に、決めてしまいましたこと、申し訳ございませんでした。 協会として、どこをライトアップするか考えまして、協会のスタート地点でもあります、せんだい演劇工房10-Box様に声をかけさせていただきました。10-Box内の文化事業団の皆様にも快くご賛同いただきましたので、開催とさせていただきます。 ○また、同じくして、東北共立さんにも都内の発起人様より連絡がはいりました。東北共立さんのたくさんのお声がけにより、市内各地の公共施設、東北共立本社社屋がライトアップされました。 ○引き続き7月の毎週月曜日、20時～21時の1時間、ライトアップされます。 ○協会としては、13日以降、日立システムズホール仙台もライトアップを行います。時間の許す方はご参加ください。照明さんだけでなく、他の皆さん			

もご参加をお待ちしております。**10-Boxへの集合時間は7時**になります。

日立システムズホール仙台は、明日以降お知らせします。**→ 18:45シアター搬入口集合とします。**

○河北新報にも記事が掲載されました。前日の7/5に掲載された記事についてですが、文字数の制限により、河北さんの方で割愛された部分がありその結果、当協会が市内すべてのライトアップをするような記事の掲載となってしまうているが、実際は東北共立さんのお声がけにより賛同いただいた、各劇場の皆さんで実施されております。河北さんにもその旨はお話しはさせていただいております。その後、7/7に、メディアテークさんのすばらしい写真付きの記事を載せていただきました。

○今回は急な依頼ということもあり、事前の御承諾を皆様にご依頼前に事業を行ってしまいましたが、今後は出来るだけ事前にお知らせして意見を伺う場を設けながら活動していきたいと思っています。**→ 皆様からの屈託のないご意見等いつでもお待ちしております。**

○盛岡では、ライトアップ会場の前でパレエを踊ったりしました。日立システムズホール仙台でこのようなパフォーマンスも実施可能かどうか、明日の打ち合わせで確認をして、皆様にお知らせします。内容によりましては、音響さんや大道具さんにもご協力をいただくことになります。

→ 7/9の打ち合わせ後確認をしていただきましたが、今回は演出は無しで、ライトアップのみとなります。

■仙台市の「多様なメディアを活用した文化芸術創造支援事業」について(劇場へ行こう！プロジェクト)

○選考の結果、「採用」との通知がきました。100万円で申請しておりましたが、80万円での採用となりました。よって、文化庁「令和2年度補正予算等における文化芸術関係者への支援」を利用せず、仙台市の支援事業で活動していきます。

採用にあたり、以下の活動に対して助成金の支払いとなりますので、お知らせいたします。

- ホームページを立ち上げ、会議の議事録や情報を公開する。
- 行政への陳情のための調査と資料の作成等を行う。
- 劇場・ライブハウスの実地調査と提言書の作成。

◎事務局から内容提案

●「劇場に行こう！プロジェクト」の保留通知(6/20)と同じくして、仙台市文化事業団(以下、事業団)さんが毎年実施している「舞台スタッフ・ラボ」(「舞台スタッフ・ラボ」とは、一般の方に舞台スタッフの仕事について広く知っていただくという講座)に、協会として事業参加できないかお話しをさせていただいております。その結果、「舞台スタッフ・ラボ」のオープン講座に協会が、参加協力としてかかわることができることになりました。

しかし、「劇場に行こう！プロジェクト」と「舞台スタッフ・ラボ」の内容を同じにすることはできないと事業団さんから指摘があり、事業団さんの提案で協会事業の「劇場に行こう！プロジェクト」へ結びつける前座事業として協力開催依頼がありました。**日程は8月10日宮城野文化パトナシアター**

●「舞台スタッフ・ラボ」の内容としては、コロナ禍の中、いち早く活動を再開された皆さんに、**(7月上旬に10-Boxで開催された「今は昔、栄養映画館」に携わったスタッフさんや、7/26にHALPLANNINGさんが開催されるクラシックコンサートに携わるスタッフさん)**話を伺うという企画。

協会としては、どのようにかかわるのか、事業団さんと話をつめます。

→ 8/10当日、ステージで作業していただくボランティアの方を募集します。照明1P、PA2P、舞台転換2P。事務局まで連絡をお願いします。

→ 8/10当日の司会は、事業団さん手配として茅根さんとなっております。→ 8/26-27もお願いできないか？

→ 事業団さんが、今回の当協会の協力にあたり、合同のチラシ・ポスターを無償で作ってくださることになりました。

●「劇場に行こう！プロジェクト」は、10月31日までに終えなくてはならない事業であるため、急ぎ、仙台市内のホール状況をしらべました。現状ではなかなか空きがなく、大変申し訳ございませんが、事務局の方で日程を決めさせていただきました。

8月24日リハーサル、8月26日、27日(2日間本番)となります。会場は、日立システムズホール仙台 シアターホール

提案内容は、協会の付き合いのある、ホールを利用される主催者(カラオケ教室の先生、舞踊教室の先生、イベンター、企業の担当者等)にご参加いただき、「また舞台に行こう！」ということに結びつける検証や報告会等を行う。検証内容等は、次の定例会にて話会いたい。

7月中旬に主催者さんにアンケートをお願いし、その内容を元に、検証内容等考える。また、当日は、会員をいくつかのチームで分け、(受付まわり誘導、ステージ、楽屋等)活動をするといいいのではないかな。主催者の方と一緒に検証することで、不安材料を少しでも減らし、劇場利用等を迷っているかたや中止された方に、再び劇場を利用していただくきっかけとする。このことで、私達の仕事の復活に結びつける。

当日参加が出来ない会員の皆さんも話し合いには是非参加していただきたい。また、どちらか1日の参加のみでも構いません。

事業開催にあたり、参加のみなさんには、交通費をお支払いします。また、従業員さんの自主的自由参加も大丈夫です。保険も加入いたします。

●本番1日の流れとして、考えていることは、

客入れ前のロビーの誘導 → 客入れ時の体制(チケット回収、消毒、チラシ配布等) → 誘導(指定席)等座席のご案内 → 本番?? → 休憩 → 楽屋見学(楽屋の使用について等)

事前にいただいたアンケート等もご紹介しながら、劇場利用について考える。質疑応答等行う。

●7月末までにいただいたアンケートをもとに、内容を考えたいとおもいますので、次回の定例会の開催は、8月の1周目としたい。

■経済産業省「家賃支援給付金について」

○5月の緊急事態宣言の延長等により、売上の減少に直面する事業者の事業継続を下支えするため、地代・家賃(賃料)の負担を軽減する給付金を支給していただけるものです。経済産業省のHPに詳細があります。7/14からWeb申請がはじまります。ご確認ください。

<https://www.meti.go.jp/covid-19/yachin-kyufu/index.html>

■協会のロゴについて

○小宮さんが考えてきてくれました。引き続き **7月末まで募集** させていただいていますので、〆切後に、話し合いで決めたいと思います。

■協会のホームページについて

○仙台市の助成金で制作費を助成していただけるので、有料サイトに変更します。現在、見積りをとっているところですので、お待ちください。

新しいホームページへの移行は、8月中旬を予定しております。

■6/23の会議において、提案のひとつとなった、コロナ禍の打ち合わせシートについて(山品さんより)

○ステージ側スタッフに関する確認事項、来場者に関する確認事項に分け、説明(別紙参照)

○山品モデルを聞いて意見交換

●私達は基本、裏方スタッフであるので、メインである主催者さん(イベンターさん)からも意見を頂戴できたらいいのではないかな。都内の関係者や地元県内の主催者さんにもご意見をいただいて、宮城モデルをつくつたらいいんじゃないかな。

●MICAについて → QRコードを読みこむ → メールアドレスを2回打ち込む → 「受付しました」の確認画面を入場時にみせる

●MICAのいいところは、主催者が追跡等を行わなくていいようにしたシステム。MICAを導入できない団体等は、来場者に住所の記載等をお願いして、感染者等が発生した場合には、保健所にすみやかに情報提供する。

●10代の若手の中には、LINEアドレスしかない方もいるので、導入するにも来ていただく客層にあわせる必要がある。

●消毒液について → 現状として、各劇場においてあるのは、メイン入り口等においてあるもののみ。可能性としては、コンサートで考えると、ツアーの制作会社からの手配書の中に消毒液の手配があるかもしれない。地元主催の事業は、主催者が必要に応じて準備しなくてはならない

■今後の開催と予定について(青字は、事務局で決めさせていただきました)

○7/15に、協会員が顧客にアンケート依頼をする。(アンケート依頼書を各社に送付いたします)郵送、メール、FAXにて)各社の状況にあわせて。

○7/27、アンケート締め切り日。この日までに、顧客からアンケートを回収してください。

○7/30までに、回収したアンケートを協会事務局まで提出してください。(郵送、メール、FAXにて)

○8/5に、アンケートの回収の結果をふまえて、「劇場に行こう!プロジェクト」検証内容について検討していく

○8/10は、協力事業「舞台スタッフ・ラボ」開催 → **ボランティアスタッフ 照明1P、PA2P、舞台転換2P募集します。**

○8/19に、主催事業「劇場に行こう!プロジェクト」最終打ち合わせ

○8/24に、主催事業「劇場に行こう!プロジェクト」リハーサル

○8/26,27、主催事業「劇場に行こう!プロジェクト」本番2日間

■文化庁「令和2年度補正予算等における文化芸術関係者への支援」について ① (お知らせ)

○「教育用映像作成事業」が適用できるか、検討していましたが、助成対象事業が、10/31までに終えないといけないうえ、今回は間に合わないために、延期致します。来年度事業として、考えていきたいと思っています。また、北海道の協会にも参考映像としての使用許可をいただきました。今後の活用も含め考えていきたいと思っています。